

1 団体登録

①Ⅰ期登録（団体申請2月中旬～下旬〆切 選手申請4月下旬〆切）

各地区選手権大会予選、県選手権（陸上は通信陸上）、中国大会、全国大会に参加するための登録

※支部予選から全国大会までをひとくくりとするため、途中での登録変更は認めない。

②Ⅱ期登録（団体・選手同時申請6月下旬〆切）

各地区新人大会、県新人大会に参加するための登録

冬季種目（スキー、スケート、駅伝）の県大会、中国大会、全国大会に参加するための登録

（重要）登録申請期間には〆切がある。〆切を過ぎての申請や期間外の申請は一切受け付けない。

【よくある質問・注意事項】

Q：Ⅰ期登録申請をしたら、Ⅱ期登録申請はしなくてよいのか？

A：Ⅰ期とⅡ期は参加できる大会が異なるため、それぞれの大会に出たい場合は登録申請が必要です。

しなかった場合は、参加できなくなります。

Q：去年、登録申請したら今年はしなくてもよいですか？

A：中体連主催大会に参加する場合は、毎年、毎回登録申請が必要です。昨年登録した団体は、継続登録申請団体となり、新規登録申請団体に比べると提出書類は少なくなります。

Q：中体連に団体登録をするためにはどのような書類が必要ですか？

A：山口県中学校体育連盟のHPにある「地域スポーツ団体等の登録申請について」を参考にしてください。

2 選手登録について

①原則1人1競技に限る

※2つ以上の競技団体に所属するのは個人の自由。中体連大会に参加するための選手登録が1人1競技に限るという意味。

②1人1競技のルールを守れなかった場合は、本人だけでなく所属チームも参加資格を失う。

※各クラブは選手が他競技で中体連大会参加登録していないかを確認することが重要。

※中体連大会に限ることなので、各協会大会への参加に関しては本連盟が定めるところではない。

③冬季種目（スキー、スケート、駅伝）については県新人大会の参加登録とは切り離して判断する。

Ⅱ期登録のみ、夏季種目と冬季種目それぞれ1種目ずつの登録を認める。

夏季種目と冬季種目の重複は認めるが、夏季種目と夏季種目、冬季種目と冬季種目の重複は一切認めない。

④登録申請期間の厳守

登録申請期間の締め切り後は選手の追加・変更は認めません。登録期間以外も同様。

【よくある質問・注意事項】

Q：学校の陸上部に所属しています。それとスイミングスクールにも所属しています。中体連の大会に両方の競技で参加することはできますか？

A：できません。中体連大会は基本的に部活動の大会です。所属部活動の種目を優先してください。クラブに所属して活動するのは自由ですが、部活動に所属している場合、クラブでの登録は控えてください。

3 各競技協会への団体登録・選手登録について

①原則、中央競技団体への団体登録と選手登録は必須義務。

②日本中体連からの競技部細則で登録義務がない競技と種別について

- ・個人登録義務がない競技・・・軟式野球、体操競技、新体操、卓球、ソフトボール、**剣道**、相撲
- ・団体登録義務がない競技・・・バドミントン、**剣道**

4 指導者の資格について

団体登録をする際にコーチ資格をもつ人材が最低一人は必要と競技部細則で示しているものと、ベンチ入りする際にも資格保有者のみに限定している種目もあるため注意が必要。

【理想は指導にあたる人材は何らかの資格を持っていたほしい。】

①団体登録に指導者の資格保有を求めている種目（主に指導する人について）

- ・陸上競技・・・JSPO 公認指導者資格（**令和8年度中は取得見込みも可**）
- ・バスケットボール・・・JBA コーチライセンス（**令和8年はE級以上で可、9年度からはD級以上**）
- ・ハンドボール・・・JSPO ビギナーコーチ以上（他種目のJSPO 資格も可）※**すべて所得済が条件**
- ・軟式野球・・・JSPO コーチ1以上（軟式野球）、BFJ 公認野球指導者基礎I以上（U15）
監督が保有すること そうでない場合は日常的に指導に関わる者が最低条件
公認3級審判以上の資格保有者がチームに必須
- ・新体操・・・日本体操協会への指導者登録
- ・バレーボール・・・JSPO スタートコーチ（バレーボール）以上→**令和9年度まで**
令和10年以降はJSPO バレーボールコーチ1以上が必須
- ・ソフトテニス・・・JSPO コーチ1（ソフトテニス）以上必須
※自治体主導で発足した地域クラブはスタートコーチ（ソフトテニス）でも可
【重要】ベンチ入りする者は有資格保持者のみ 新規登録年度のみ所得中も可
- ・卓球・・・JSPO コーチ1（卓球）以上 地域クラブに関わる中学校教員は免除
- ・バドミントン・・・JSPO スポーツコーチングリーダー（バドミントン）以上
新規団体登録3年以内に取得すること※公認審判員資格3級以上も1名以上必須
- ・ソフトボール・・・JSPO 公認指導者資格と日本ソフトボール協会に該当チームの監督、またはコーチとしての登録が必要
- ・柔道・・・全日本柔道連盟公認指導者資格（ABC 指導員）→**引率、監督、帯同コーチ全て必要**

②資格保有の有無による団体登録の承認は競技部細則に則って判断する

- ・I期申請は細則に指示されている競技以外は猶予を一切認めない。**※基本取得済であること**
- ・II期申請については、原則競技部細則に則って判断するが、協会の都合でライセンスの発行が遅れている場合のみ、専門部と協議の上、緩和することがある。

5 団体（リレーや団体戦）出場に条件がある競技

①「自治体主導で地域展開を進めるために発足した地域クラブ活動」または、「地域展開の受け皿となっている地域クラブ活動」を出場条件とする競技

※「地域展開の受け皿」の最低条件は「所属する選手の学校に部活動が存在しない」場合

- ・陸上競技（リレー、駅伝）
- ・体操競技
- ・新体操
- ・卓球
- ・剣道（団体戦）
- ・バスケットボール（追加条件：中学校単位で編成されたクラブに限る）

②その他の出場条件

- ・サッカー・・・クラブユース連盟に加盟していないこと。
- ・体操競技、新体操・・・選手全員が同一校に在籍している。
- ・バレーボール・・・中学校の部活動チームはその中学校の生徒のみで編成されている場合は不可。
JVA—MRS の「地域クラブ」として登録されたチームに限る。
- ・ソフトボール・・・「全日本中学生ソフトボール大会」に出場していないチームに限る。
（チーム内に出場した経緯のある選手、監督、コーチが含まれている場合は不可。）